

様式2

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 7 月 30 日

(宛先)札幌市長

提出者 住所	〒 060-8631	
	北海道札幌市中央区北3条西2丁目 札幌MTビル	
	氏 名	三井住友海上火災保険株式会社 北海道支店
	(代表者名) 理事 北海道支店長 宇佐 典浩	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～				2025 年 3 月 31 日			
事業の規模	従業員数	282		人	原油換算した		170.8		k1
	使用床面積	8859.68		㎡	燃料・熱・電気の合計量				
	事業所数	1	事業所		自動車使用台数		62	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC		
		405 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃			
		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス							
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)				第1項		第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)				第1項		第2項	
計画期間		2022 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日							
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり							
備 考									

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
紙使用量の削減	20671463	10	20188584	2	△	16524601	20	○	13752649	33	○
	円	%	円	%		円	%		円	%	
電力使用量の削減	990098	2	910992	8	○	825109	17	○	673839	32	○
	Kw	%	Kw	%		Kw	%		Kw	%	
ガソリン使用料の削減	43.7	2	39	11	○	31.5	28	○	34.2	22	○
	Kl	%	Kl	%		Kl	%		Kl	%	
Web約款(自動車・火災合計)累計目標80%	76.9	-	80.8	▲ 5	×	85.4	▲ 11	×	91	▲ 18	×
	%	%	%	%		%	%		%	%	
eco保険証券(自動車)累計25%	11	-	14.2	▲ 29	×	30.8	▲ 180	×	52.4	▲ 376	×
	%	%	%	%		%	%		%	%	
リサイクル部品使用率目標6.0%	5.7	-	4.5	21	△	5.3	7	△	4.6	19	△
	%	%	%	%		%	%		%	%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○:目標削減率を達成

△:実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×:実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
紙使用量の削減	○	全社的に徹底したペーパーレスを推進中。
電力使用量の削減	○	ビル集中管理による温度設定(個別対応は不可)、働き方改革推進により夜間残業の削減効果。
ガソリン使用料の削減	○	社員の安全運転の徹底に加え、外出回数の見直しなど、そもそも車に乗る頻度を下げる努力を徹底している。
Web約款(自動車・火災合計)累計目標80%	×	web約款、eco保険証券は選択率が上がるほど取組が進んでいるので、正しくは○大きく改善が進んでいる。
eco保険証券(自動車)累計25%	×	web約款、eco保険証券は選択率が上がるほど取組が進んでいるので、正しくは○大きく改善が進んでいる。
リサイクル部品使用率目標6.0%	△	目標数値の6%はクリアできてないが、当社内の平均は3.1%であり、社内的には活用が進んでいる。引き続き改善に向けて活動を継続する。